

## 全国高等学校ビブリオバトル2025鳥取県大会の開催結果について

令和8年1月16日

図 書 館

### 1 概要

- 本を主体としたコミュニケーションゲームであるビブリオバトルを通じて、高校生の表現力・コミュニケーション能力の養成と読書への関心を高め合う新たな読書活動推進の場の提供を目的として毎年開催（今回で9回目）
- 県内の高等学校11校（16名）の高校生が出場（昨年度は8校11名）
- 参加者は延べ95名（発表者、観覧者、高校生・大学生の運営ボランティア等を含む）
- 鳥取東高等学校からの出場者が紹介した本がチャンプ本に選ばれ、東京で開催される全国大会（令和8年2月8日・主催 活字文化推進会議、主管 読売新聞社）に出場予定

2 日時 令和7年12月14日(日) 午後1時から午後3時30分まで

3 会場 倉吉体育文化会館 大研修室他（倉吉市山根）

### 4 発表本・結果

#### (1) 予選

会場	発表順	発表本（タイトル / 著者名・出版者名）	決勝進出	発表者所属
予選A	1	『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。』 (川上和人/著・新潮社)		鳥取東高等学校
	2	『外科室』(泉鏡花/著・立東舎)		倉吉西高等学校
	3	『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない A Lollypop or A Bullet』 (桜庭一樹/著・KADOKAWA)		青翔開智高等学校
	4	『華氏451度』(レイ・ブラッドベリ/著・早川書房)	○	鳥取西高等学校
予選B	1	『天官賜福 1』(墨香銅臭/著・フロンティアワークス)		倉吉総合産業高等学校
	2	『流浪の月』(凧良ゆう/著・創元文芸文庫)		湯梨浜学園高等学校
	3	『コーヒーが冷めないうちに』 (川口俊和/著・サンマーク出版)	○	鳥取東高等学校
	4	『死にたいけど、トッポッキは食べたい』 (ペク・セヒ/著・光文社)		八頭高等学校
予選C	1	『二人一組になってください』(木爾チレン/著・双葉社)	○	倉吉東高等学校
	2	『人間失格』(太宰治/著・新潮社)		鳥取湖陵高等学校
	3	『禁忌の子』(山口未桜/著・東京創元社)		岩美高等学校
	4	『糸』(林民夫/著・幻冬舎文庫)		湯梨浜学園高等学校
予選D	1	『四畳半神話大系』(森見登美彦/著・角川書店)		湯梨浜学園高等学校
	2	『ぼくが消えないうちに』(A.F.ハロルド/著・ポプラ社)		米子東高等学校
	3	『口に関するアンケート』(背筋/著・ポプラ社)		倉吉東高等学校
	4	『コンビニ人間』(村田沙耶香/著・文藝春秋)	○	鳥取西高等学校

## (2) 決勝

発表順	発表本 (タイトル / 著者名. 出版者名)	チャンプ本	発表者所属
1	『華氏451度』(レイ・ブラッドベリ/著・早川書房)		鳥取西高等学校
2	『コーヒーが冷めないうちに』(川口俊和/著・サンマーク出版)	◎	鳥取東高等学校
3	『二人一組になってください』(木爾チレン/著・双葉社)		倉吉東高等学校
4	『コンビニ人間』(村田沙耶香/著・文藝春秋)		鳥取西高等学校

## 5 当日の様子



### 【チャンプ本発表者の声】

大会への参加を通して、言葉の力を感じました。自分の言葉で、自分の過去にこれからは寄り添ってくれる大切な小説の魅力が多くの人に届いたこと、とても嬉しく思います。

また、他の参加者の発表を聞く中で、沢山の素敵な本に出会うことができ、参加してよかったと強く感じました。『コーヒーが冷めないうちに』には、過去と向き合い、後悔から一歩ずつ前に進んでいく人々の姿が描かれています。心ひとつで人はきつとつらい現実を乗り越えていける。そんな強さをこの小説は与えてくれます。

全国大会には、県大会より多くの方が訪れます。この小説が会場にいる皆さんのこれからは寄り添う一冊となるよう心を込めて発表します。

### 【アンケート (抜粋)】

- ・ 楽しかったし、発表に参加することで興味の持てる本をたくさん見つけることができうれしかった。
- ・ 発表はとても緊張しましたが、一番好きな本を堂々と伝えることができとても楽しかったし、他の発表者の様々な発表が聞けて良かったです。
- ・ 本を読みたいと思ってくれる人と出会ってたくさん話せてうれしかったです。
- ・ 決勝に進出した4名の方だけでなく、予選に参加した方も全員素晴らしかったです。本に対する思いが伝わってきました。
- ・ 大変良い体験をさせていただき、ありがとうございました。読みたいと思えるような本ばかりで、また行きたいと思えるような内容でした。
- ・ ボランティアスタッフさんもとても対応がよく、頑張っておられました。お世話になりました。
- ・ 本への熱量が高く、楽しく聞かせていただきました。本への愛情があふれていました。どの発表も素晴らしく、ものすごく悩んで投票(※)しました。

※ビブリオバトルは、発表を聞いた全参加者による1人1票の投票で最多の得票を得たものがチャンプ本となるルール。